

令和6年度 自己評価アンケートまとめ

職員による自己評価

- ・支援については、日々情報共有しながら個々の様子や、保護者のニーズに添った活動を心がける事が出来ている。職員配置数を増やすことでより手厚い支援が出来るのではないかと意見もあった。
- ・環境面については十分なスペースが確保されており、必要に応じてパーテーション等も活用している。
- ・職員のスキルアップの為に研修体制は十分とは言えない。定期的に学校との連携も図り統一した支援の徹底に努めたい。
- ・非常時の対応については避難訓練を実施することで対応マニュアルを再確認することができた。
- ・日頃の送迎時や年2回の面談を通して児童の様子を密に共有することで家庭との連携を取ることができた。

保護者による評価

- ・事業所内の環境や支援のサービス内容に対しては良い評価をいただいた。
- ・外部機関との連携に関しては必要がないという意見もあったが、一方で様々な交流があるとより豊富な経験を子どもたちに提供できるのではないかと意見もあった。
- ・数年ぶりに開催された秋祭りは好評の声をたくさんいただき、これを機に保護者同士の交流の場を増やしてほしいという意見もいただいた。
- ・非常時の対応マニュアルや必要な訓練については、定期的に避難訓練の実施を望む声があった。



事業所内での分析

- ・サービス提供の内容や事業所の環境についてはご理解を頂いているので、引き続き各ご家庭との連携を図りながら児童の支援に努めていく。
- ・今後も児童が安心して通所出来るよう年2回の避難訓練は引き続き実施し、完了後は保護者様への共有も徹底していく必要がある。また必要に応じて非常時対応マニュアルを都度共有していく。
- ・保護者様も参加できるようなイベントの開催を引き続き検討していきながら、情報の交換や共有の場を提供する。
- ・職員のスキルアップの為に研修等に積極的に参加することにより、より柔軟な支援が出来るよう取り組んでいく。

事業所の強み

- ・室内外共に環境面が整っている為、臨機応変な対応ができ、支援に活かせる。
(運動場では短時間でも外活動の時間が持てる。テイルームでは必要に応じてパーテーションを活用することで個々に合わせた環境を提供できる。)
- ・職員間で日々の児童の様子など情報共有ができていて、支援に対しての共通理解を持つことができています。
- ・活動内容を日々工夫することで児童の興味や関心を引き出すことができる。
- ・緊急時など、他事業所との連絡・協力体制が整っている。

事業所の改善点

- ・非常時の対応や各マニュアルについては、保護者様への周知を徹底する必要がある。
- ・児童の支援をより柔軟に対応出来るよう職員配置数を整えると共に、スキルアップの為に研修の機会を確保していく。

事業所の改善への取り組み

- ・非常時の対応については、継続して年2回の避難訓練を行いながら保護者様に対しても完了報告をしていく。また職員間でも非常時対応マニュアルを再確認し、迅速に対応出来るよう努める。
- ・内外共に研修の機会を設定し積極的に参加する。また参加した職員はその他の職員に情報共有することでスキルの均等化を図る。
- ・職員配置数を整えることで、活動や個々の状況に合わせて柔軟な対応が出来るようにしていく。